

宮崎市郡医師会病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。いつでも本研究への参加を拒否することが可能です。

| | |
|--|--|
| 研究課題名 (研究番号) | 高度石灰化病変の冠動脈インターベンションにおける SHOCKWAVE 冠動脈血管内破砕システムの有用性を検証する後ろ向き観察研究 |
| 当院の研究責任者 (所属) | 柴田 剛徳 循環器内科 |
| 他の研究機関および 各施設の研究責任者 | なし |
| 本研究の目的 | 高度石灰化を伴う冠動脈狭窄病変に対する冠動脈インターベンション治療は困難であり治療成績は不良であると言われていています。冠動脈インターベンション治療の用いる機器が通過しにくいことやステント治療した時のステントの広がり十分に得られないことがあり、その結果ステント内の再狭窄をきたすことがあります。SHOCKWAVE 冠動脈血管内破砕システムは、高度石灰化病変の冠動脈インターベンションの治療成績が向上する可能性があります。今回の研究の目的は、高度石灰化病変に対する冠動脈インターベンションにおいて SHOCKWAVE 冠動脈血管内破砕システム使用がどれほど有用であるかについて検討するというものです。この研究の結果により今まで治療困難であると言われていた冠動脈石灰化病変の治療成績の向上につながる可能性があります。 |
| 調査データ 該当期間 | 安定冠動脈疾患の患者さんで、2022年9月20日以前に虚血が証明された高度石灰化病変を伴う狭窄病変に対して冠動脈インターベンションを施行された方です。 |
| 研究の方法 (使用する試料等) | 診断名、年齢、性別、身体所見、血液検査データ、併存疾患、治療歴、イベント等の発生状況等をカルテから収集・解析します。研究に伴う追加の検査等はありません。 |
| 個人情報の取り扱い 試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法 | 利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。 |
| 本研究の資金源 (利益相反) | ありません |
| お問い合わせ先 | 宮崎市郡医師会病院 循環器内科 氏名：江守 裕紀 住所：〒880-2102 宮崎市大字有田 1173 番地 TEL：0985-77-9101 |
| 備考 | |